

添 付 資 料

添付 1 評価の枠組み

評価対象: ラオス国別援助方針		評価対象時期: 1997年度～2003年度		
評価視点	評価項目	評価内容、指標	情報源	情報収集先
I. 目的	目的の妥当性	1. わが国の上位政策との整合性		
		(1) ODA 大綱との整合性 (2) ODA 中期政策との整合性 ➤ 対ラオス国別援助方針は、わが国の上記政策（ODA 大綱、ODA 中期政策）と整合したものであったか。 ・対ラオス国別援助方針の目標体系図を作成し、以下の項目と比較する。 ODA 大綱の基本理念および重点項目 ODA 中期政策の基本的考え方および地域別援助のあり方	・ ODA 白書 ・ 政府開発援助 (ODA) 大綱 ・ 政府開発援助 (ODA) 中期政策	・ 外務省ホームページ ・ 外務省
		2. ラオスの開発ニーズとの整合性		
		(1) 国家社会経済開発計画 (NSEDP: National Socio- Economic Development Plan) との整合性 (2) 8 つの国家優先プログラムとの整合性 (3) NGPES (National Growth and Poverty Eradication Strategy) との整合性 ➤ 対ラオス国別援助方針は、ラオス政府の開発戦略・開発ニーズと整合したものであったか。 ・対ラオス国別援助方針の目標体系図と NSEDP 等の目標体系図との比較。 ➤ ラオスの開発ニーズ・開発政策は経済危機前後で変化があったか。 ・経済危機前後におけるラオスの開発ニーズ・開発政策の比較。	・ ODA 白書 ・ NSEDP ・ ラオス人民革命党第 7 次大会関係資料 (8 つの国家優先、国家行動計画を含む) ・ I-PRSP ・ NGPES	・ 外務省ホームページ ・ 国際機関ホームページ ・ 外務省、JICA、JBIC
3. メコン地域開発政策との整合性				
		(1) メコン地域開発政策に係る各イニシアティブ (大メコン地域 (GMS) プログラム等) との整合性 ➤ 対ラオス国別援助方針は、メコン地域開発政策と整合したものであったか。 ・メコン地域開発政策マトリックスを作成し、援助政策を比較。	・メコン地域開発政策関連資料 ・外務省、JICA、JBIC、ADB 担当者からの情報・意見。	・ 外務省、JICA、JBIC、ADB ホームページ ・ 外務省、JICA、JBIC、ADB

評価対象: ラオス国別援助方針		評価対象時期: 1997年度～2003年度		
評価視点	評価項目	評価内容、指標	情報源	情報収集先
		4. 他ドナー・国際機関の援助政策との比較		
		(1) 他ドナー・国際機関の援助政策との比較 > 対ラオス国別援助方針は、他ドナー・国際機関の援助政策とどのように整合し、異なるか。 ・ドナー別分野別援助政策マトリックスを作成し、わが国と他ドナーの援助政策を比較。 ・他ドナー・国際機関の援助の実態を確認・分析する。 ・他ドナー・国際機関の援助政策と比較し、わが国援助の独自性を確認・分析する。	・世銀: CAS (Country Assistance Strategy) ・ADB: Country Strategy and Program ・UN: Country Cooperation Framework 等 ・各援助国・国際機関担当者からの情報・意見。	・各援助国・国際機関ホームページ ・各援助国・国際機関ラオス事務所
II. プロセス	策定および実施過程の適切性	1. ラオス国別援助方針の策定プロセスの適切性		
		(1) 策定プロセスにおける組織・体制の適正度 > 策定プロセスに参加した組織・体制のラオスにおける開発計画に対し、どのような関連があったか。 ・対ラオス国別援助方針の策定プロセスに係るフローチャートの作成	・ODA 白書 ・国別援助検討会「ラオス」 ・外務省担当者からの情報・意見 ・JICA、JBIC 担当者からの意見	・外務省ホームページ ・JICA ・JBIC
		2. ラオス側による開発ニーズの把握プロセス		
		(1) 策定過程における協議の頻度および内容の適切性 > ラオスのニーズの変化が反映されるようなプロセスがあったか。 > ラオス側による開発ニーズの把握・政策への反映は十分に行われていたか。 ・ラオス側による開発ニーズの把握プロセスに係るフローチャートの作成	・97年12月現地調査報告書 ・経済協力政策協議 ・わが国の政府開発援助の実施状況に関	・外務省 ・ラオス各省庁

評価対象: ラオス国別援助方針		評価対象時期: 1997年度～2003年度		
評価視点	評価項目	評価内容、指標	情報源	情報収集先
			する年次報告 ・ ODA 白書 ・ 外務省担当者からの情報・意見 ・ ラオス各省庁の担当者からの情報・意見	
		3. ラオス援助実施プロセスにおける整合性		
		(1) JICA、JBIC、他関係機関の援助実施計画・方針との整合性 > JICA、JBIC の援助実施計画・方針の策定プロセス、他関係機関における分野別の援助方針において、対ラオス国別援助方針およびラオス側の開発ニーズが反映されていたか。 ・ JICA 援助実施計画に基づく体系図を作成し、対ラオス国別援助方針との整合性を検証。 (2) 案件形成プロセスの適切性 > 案件形成プロセスにおいて、ラオス国別援助方針およびラオス開発ニーズが反映されていたか。 ・ JICA、JBIC の案件形成プロセスに係るフローチャートの作成	・ 国別事業実施計画 ・ 国別業務実施方針 ・ 外務省担当者からの情報・意見 ・ JICA、JBIC、関係機関（関係省庁等）担当者からの情報・意見	・ JICA ・ JBIC ・ 関係省庁等
	実施過程の効率性	4. 援助スキーム間の連携		
		(1) 外務省、JICA、JBIC の援助スキーム間の連携 > 1997～2003年に実施された案件のうち、スキーム間の連携により実施された案件はどれだけあったか。 > スキーム間の連携により効果を挙げたプロジェクト、プログラムはあったか。 ・ 各種関連資料の分析、ヒアリングによる評価	・ 外務省、JICA、JBIC 関連資料 ・ 外務省、JICA、JBIC 担当者からの情報・意見	・ 外務省 ・ JICA ・ JBIC ・ 外務省、JICA、JBIC ホームページ
		5. 他ドナーとの連携		
		(1) ラウンド・テーブル、PRSP 作成等における援助方針の調整および他ドナー・国際機関との協調に係る評価 > 他ドナー・国際機関との調整・協調により、わが国の援助が効率的、効果的に行われていたか。	・ ラウンド・テーブル 関係資料 ・ 各援助国・国際機関の関連資料および	・ 各援助国・国際機関ホームページ ・ 各援助国・国際機関ラオス事務所

評価対象: ラオス国別援助方針		評価対象時期: 1997年度～2003年度		
評価視点	評価項目	評価内容、指標	情報源	情報収集先
		<ul style="list-style-type: none"> ・ラウンド・テーブルのテーマ、分科会と主要課題を整理し、わが国の援助政策と比較し、調整プロセスを検証。 ・協調例（ラオスにおける東西回廊計画の例を含む）の提示、ヒアリング等に基づくケーススタディ分析 	情報・意見	
Ⅲ. 結果	有効性	1. 対ラオス援助政策のロジックモデルと目標達成に関する分析		
		(1) 対ラオス援助政策のロジックモデル > 実施されたわが国 ODA の目標はどこにあったか。 ・わが国 ODA の実績のロジックモデルによる分析 (2) 対ラオス国別援助方針によるわが国 ODA の有効性 > 実施されたわが国 ODA はラオスの開発にどのように貢献したか。 ・マクロ経済への貢献度による評価 ・ラオスの開発目標（NSEDP および MDGs）への貢献度による評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ODA 白書 ・ラオス国家予算 ・JICA、JBIC 資料 ・世銀・IMF 資料 ・各種統計資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・外務省ホームページ ・国際機関ホームページ ・JICA、JBIC ・ラオス各省庁等
		2. わが国の対ラオス援助政策の重点分野への支援の結果の分析		
		(1) 対ラオス国別援助方針の重点分野の有効性 > わが国 ODA の重点分野ごとの配分。 ・ラオスの公共支出とわが国 ODA 資金の推移表による分析 (2) 対東アジア地域援助における対ラオス援助政策の結果の妥当性 > 対ラオス援助は対東アジア地域援助にどのように位置づけられるか ・対東アジア援助の推移との対ラオス援助の推移との比較分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ODA 白書 ・ラオス国家予算 ・JICA、JBIC 資料(プロジェクト、プログラム評価報告書等) ・世銀・IMF 資料 ・各種統計資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・外務省ホームページ ・国際機関ホームページ ・JICA、JBIC ・ラオス各省庁等
	3. 外部要因による影響分析			
		(1) 外部要因による影響の推定 > アジア経済危機等、外部要因による影響はどのようなものがあったか。 ・各種関連資料の分析、ヒアリングによる評価	<ul style="list-style-type: none"> ・各種アジア経済危機関連文献 ・各種統計 ・JICA、JBIC 資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際機関ホームページ ・JICA、JBIC ・ラオス各省庁
	インパクト	4. 日本・ラオスの二国間関係への影響		
		わが国 ODA インパクトに関するラオス国内における認知度 > わが国の援助プロジェクトおよびその効果はどの程度認識されている	<ul style="list-style-type: none"> ・ラオス経済政策支援報告書 	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA、JBIC ・ラオス各省庁

評価対象: ラオス国別援助方針		評価対象時期: 1997年度～2003年度		
評価視点	評価項目	評価内容、指標	情報源	情報収集先
		か。 ・政府機関、ラオス企業、ラオス国民に対するアンケート調査。	・各種報告書、記事 ・ラオス各省庁の担当者からの情報・意見 ・サンプルに対するアンケート結果	・政府機関、ラオス企業、ラオス国民 ・インターネット
		5. メコン地域開発への影響		
		(1) ラオスに対するわが国 ODA のメコン地域に与えた影響 ▶ わが国 ODA がメコン地域開発・域内格差是正にどのような影響を及ぼしたか。 ・東西回廊計画のケーススタディ	・メコン地域開発政策関連資料 ・外務省、JICA、JBIC、ADB 資料、担当者からの情報・意見。	・外務省、JICA、JBIC、ADB ホームページ ・外務省、JICA、JBIC、ADB
		6. 国際社会の中でわが国 ODA がラオスの開発において果たした役割		
		(1) ドナー・コミュニティにおけるわが国の貢献や地位向上 ▶ 主要ドナー・国際機関の援助動向と日本の貢献度合、援助調整上で日本が果たした役割はどのようなものか。 ・日本に次ぐ主要ドナーの援助実績、援助戦略などとの相互比較を行ない、わが国が果たした役割を客観的に検証。	・ラウンド・テーブル関係資料 ・各援助国・国際機関の関連資料および情報・意見	・各援助国・国際機関ホームページ ・各援助国・国際機関ラオス事務所
		(2) 他ドナーによる日本の対ラオス ODA の評価 ▶ 他ドナーからわが国支援はどのように評価されているか。 ・ドナー・国際機関へのヒアリングによる評価。		

添付 2 現地調査日程

現地調査団：

	現地調査期間	現地調査期間
橋本ヒロ子（評価主任）	2005/1/18-1/22	中垣 朋博（外務省） 2005/1/19-1/25
西澤 信善（監修者）	2005/1/24-1/27	長谷川 博（外務省） 2005/1/17-1/23
福井 清一（監修者）	2005/1/17-1/20	中村 桐美（コカカト） 2005/1/17-1/27
		井上 果子（コカカト） 2005/1/17-1/27

日順	月日	曜日	時間	行程
1	1/16	日	終日	東京発・バンコク着（JL703）
2	1/17	月	午前	バンコク発・ピエンチャン着（TG690）
			午後	UNDP、ADB Lao PDR Resident Mission 訪問
3	1/18	火	午前	IMF、ラオス外務省 訪問
			午後	JICAラオス事務所、Delegation of European Commission 訪問
4	1/19	水	午前	現地ODAタスクフォース（在ラオス日本大使館、JICA、JBIC） 訪問
			午後	CPI、NERI 訪問
5	1/20	木	午前	Lao Women's Union（LWU）、MCTPC（通信運輸郵政建設省） 訪問
			午後	国道13号線でサバナケートへ移動
6	1/21	金	午前	サイト視察（サバナケート地区上水道施設改善計画）、Nakae農業訓練学校（青年海外協力隊） 訪問
			午後	サイト視察（第2メコン国際橋、国道9号線）
7	1/22	土	終日	ピエンチャンへ移動
8	1/23	日	終日	資料整理
9	1/24	月	午前	財務省、教育省 訪問
			午後	保健省、農林省 訪問
10	1/25	火	午前	サイト視察（ラオス日本人材協力センター、ラオス国立大学経済経営学部、ICTC）
			午後	KIDSMILE、UNICEF、スウェーデン大使館 訪問
11	1/26	水	午前	サイト視察（Nakhok Noy小学校、Second Treatment & Rehabilitation Center at Somsa Nga village）
			午後	商業省 訪問
12	1/27	木	午前	商工会議所、AusAID 訪問
			午後	MCTPC（都市計画局、道路局）、在ラオス日本国大使館 訪問
13	1/28	金	終日	ピエンチャン発・バンコク着（TG691）、バンコク発（JL718）
14	1/29	土	午前	東京着

添付 3 現地調査面談先リスト

面談先		面談者
日本機関	日本大使館・現地 ODA タスクフォース	(在ラオス日本大使館) 篠原公使参事官、中村二等書記官、毛木二等書記官、掛川専門調査員 (JICA ラオス事務所) 森所長、池田副所長、富田所長補佐 (JBIC バンコク事務所) 府川駐在員
	JICA 事務所	森千也所長、池田修一副所長、富田洋行所長補佐
	サバナケット地区上水道施設改善計画	Mr. Phandola Kualomouangchane, Head of Water Treatment Plant, Savanakhet Province Water Supply State Enterprise
	Nakae Agriculture School & Training Center	Ms. Keiko Kadogawa (青年海外協力隊員・果樹) Mr. Thong Rasaphone, Director Head, Nakae Agriculture School & Training Center
	ラオス日本人材協力センター	鈴木信一チーフアドバイザー、野本直樹 JICA 専門家
日本機関・プロジェクト	ラオス国立大学経済経営学部	Prof. Khamlusa Nouansavanh, Dean Mr. Phosy Thipdavanh, Head of Management Dept. Dr. Nobuaki Matsunaga, JICA Advisor Dr. Tetuso Hamauzu, JICA Advisor Dr. Thutomu Takahashi, JICA Advisor 他
	International Center for Training and Cooperation	Mr. Thonglun Sayavong, Acting Director.
	KIDSMILE(子どものための保健サービス強化プロジェクト)	Dr. Azusa Iwamoto, Chief Advisor
	国道 9 号線、第 2 メコン国際橋架橋	(DCTPC, Savannakhet Province) Mr. Loth Souksivongsay, Director, (第二メコン国際橋架橋事業) Mr. Phetsamone Viraphanth, Deputy Director General of Cabinet, Project Director of Mekong International Bridge Savannakhet Project Mr. Takeda Yasutoshi, Project Manager 他約 20 名
ラオス機関	CPI	Ms. Singkham Khongsavanh, Deputy Director General, Department of General Planning
	外務省	Mr. Keomany Latsamy, Deputy Director General, Department of International Cooperation (DIC)
	財務省	Mr. Saysamone Xaysouliane, Deputy Director General, Fiscal Policy Department, Director of National AFTA Unit

面談先	面談者	
通信運輸郵政建設省	Mr. Kanneun Khamvongsa, Deputy Permanent Secretary	
	Mr. Bounta Kounlavong, Director of Planning and International Cooperation Division	
	Mr. Somilth Phouthonesy, Deputy Director General, Department of Posts and Telecommunication	
	Ms. Chanthanom Souligno, Deputy Director of International Cooperation Division	
	Mr. Samone Vimany, Deputy Director, Department of Housing and Urban Planning	
	Mr. Viengsavath Siphandone, Director General, Department of Roads	
保健省	Mr. Laokham Sompheth, Deputy Director General, Department of Roads	
	Dr. Soukkhaseum Pakdimanivong, Director, Department of Roads	
	Dr. Nao Boutta, Deputy Director of Cabinet	
	Dr. Khampheny, Senior Officer, Cabinet	
	Dr. Founkham Rattavong, Deputy Director, Primary Health Care Expansion Project	
農林省	Dr. Kotsaythoun Phimmasone, Chief of Planning Division	
	Dr. Chandavone Phoxay, Deputy Director of Foreign Relation Division, Cabinet	
	Mr. Xaypladeth Choulamany, Deputy Permanent Secretary	
教育省	Mr. Inthadom Akkharath, Deputy Director of International Cooperation and Investment Division, Permanent secretary Office	
	Mr. Phalasack Pheddara, Director of Operation and Maintenance, Department of Irrigation	
商業省	Mr. Ka Saleumsouk, Deputy Director, Department of General Education	
NERI ¹	Mr. Silisamphanh, Deputy Director General	
ラオス商工会議所	Ms. Sirivanh Khontharane, Director General	
ラオス女性組合(LWU)	Mr. Khampanh Sengthongkham	
他ドナー機関	Ms. Bundith Prathoumvanh, Director General, Department of Development,他 1 名	
	スウェーデン大使館 (SIDA)	Ms. Marianne Tegman, Counsellor
	Delegation of European Commission	Mr. Sandro Cerrato, Charge d’Affaire
	ADB	Mr. James A. Nugent, Country Director,
	世界銀行	Mr. Kenji Takamiya, Programs Economist
	IMF	Mr. Enrique Crousillat, Country Manager
	Mr. Philippe Beaugrand, Resident Representative	

¹ CPI 国家計画委員会)内のシンクタンク部門である国家経済研究所。ラオス経済政策支援の事務局。

面談先	面談者
UNDP	Mr. Finn Reske-Nielsen, Resident Coordinator UN Resident Representative Ms. Setsuko Yamazaki, Deputy Resident Representative
UNICEF	Ms. Olivia Yambi, Representaive Ms. Desiree Jongsma, Programme Coordinator
豪大使館(AusAID)	Mr. Michael Bosworth, Programu Officer, Development Cooperation Section

添付 4 サイト視察先リスト

所在地	案件名	備考
ピエンチャン	ラオス国立大学経済経営学部支援及びラオス日本人材協力センター(プロ技)	◆ 2002.9 開始 ◆ ADB との連携 ◆ 「人造り」支援
	ラオス国立大学施設日本・ラオス人材協力センター建設計画(無償)	◆ E/N:2000.1 ◆ 「人造り」支援 ◆ スキーム間連携
	子どものための保健サービス強化計画(プロ技)	◆ 2002.11 ~ 2007.10 ◆ 【BHN】支援 ◆ 女性同盟・青年同盟との協力、無償・青年海外協力隊との連携、国際機関との協力
	小学校建設建設計画 (Nakhok Noy 小学校を訪問)	◆ 草の根無償 ◆ 「BHN」支援
	ICTC(Information Center for Training and Cooperation)	◆ 無償資金協力 ◆ 2004 年 7 月より運営開始
(通過点)	第二次国道 13 号線橋梁改修計画(無償)	◆ E/N:1998.5 ◆ 「インフラ整備」支援 ◆ 国際機関・他ドナーとの協力
サバナケート	第 2 メコン国際橋架橋計画(有償)	◆ L/A:2001.12 ◆ メコン地域開発(GMS 案件:東西経済回廊) ◆ スキーム間連携(連携 D/D)
	サバナケート地区上水道施設改善計画	◆ E/N:2001.6 ◆ 「インフラ整備」支援
	青年海外協力隊 (Nakae 農業訓練学校)	◆ 青年海外協力隊 (果樹) ◆ 2004 年 7 月より赴任
	国道 9 号線改修計画(無償) 第 2 次国道 9 号線改修計画(無償)	◆ E/N:2000.5、2001.5 ◆ メコン地域開発(GMS 案件:東西経済回廊) ◆ 「インフラ整備」支援 ◆ ADB との協力

添付 5 サイト視察先（写真）

サバナケート地区上水道施設改善計画（無償資金協力）



サバナケート地区上水道施設改善計画



取水口



浄水設備



水質検査

第2 メコン国際橋架橋計画（有償資金協力）



基礎工事現場



アプローチの建設



橋げたの建設



アプローチと通関施設等の建設用地

国道 9 号線改修計画（無償資金協力）



国道 9 号線改修計画



国道 9 号線と 13 号線とのインターセクション



国道 9 号線 (Seno 付近)

第二次国道 13 号線橋梁改修計画（無償資金協力）



第二次国道 13 号線橋梁改修計画



改修された橋

ラオス国立経済・経営学部および日本・ラオス人材協力センター（無償、技術協力）



ラオス日本人材協力センター



学習室



図書室



教室



ラオス国立大学経済経営学部

国際協力・研修センター建設計画（無償資金協力）



国際協力・研修センター建設計画



国際協力・研修センターの外観



国際協力・研修センターのセミナールーム



国際協力・研修センターのロビー

Nakhok Noy 小学校（草の根無償協力）



Nakhok Noy 小学校（草の根無償協力）



草の根無償で整備された校舎



教室



生徒と教員